

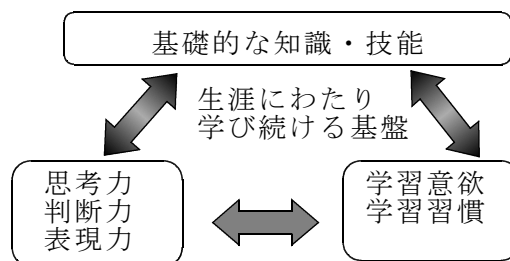
(4) 我が校の学力向上策

甲賀市立綾野小学校

1. 本校の学力向上に関わる課題 (全国学力・学習状況調査より)

- 国語A、算数A、算数Bでは、全国平均に近いが、それ以上の正答率で概ね良好である。国語Bでは、「まとめて書く」「考えたことを書く」「条件を満たして書く」などの『書く』課題に弱さが見られ、無解答率もやや高めである。
- 国語科
 - ・文章を論理的に整えて書く、簡潔に整理して書く、条件に合わせて書くなど、書く力が十分に育っていない。
 - ・文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読み力が弱い。
- 算数科
 - ・図形の性質の理解や辺や面の位置関係についての理解が十分でない。
 - ・情報を数学的に解釈し、解決の見通しを立てて筋道立てて考える力がやや弱い。
- 学習状況調査
 - ・総合的な学習の時間で、課題を立て調べ発表する学習活動が不十分である。
 - ・失敗を恐れずに難しいことに挑戦しようとする意欲にやや欠ける。
 - ・感想文や説明文を書くことは難しいと感じている児童が多い。

2. 本校の「学力」のとらえ方



3. これまでの取組での改善状況

- 授業で子どもを褒めることを意識することで、今まで課題であった自尊感情が育ってきた。
- 授業の中で話し合う活動や考えを発表する活動をたくさん設定することで、表現する力がついてきた。
- 「家庭学習のてびき」等の活用により家庭学習を1時間以上する児童の割合が増えてきた。

4. 学力向上へのアプローチ

(1) 授業改善

- ・予習を取り入れた「分かち合う学習」を推進する。
- ・「一人学び」→「ペア学習・グループ学習」→「全体学習」へと話し合いの形態を広げていく中で、考えを練り合う力、表現する力を高める。
- ・1時間の学習の中で「読む」「書く」「話し合う」活動をバランス良く組み合わせる。「書く」活動においては、字数を制限して書く、言葉を引用して書く、比較して書く、キーワードを使って書く等の工夫をする。
- ・ICTを積極的に活用した教材の開発や提示の工夫を通して、支援の必要な児童に視覚支援を行い、内容の理解を深め学習への意欲を高める。
- ・授業の始めにねらいを板書し、終わりにはねらいに即した振り返りを行う。

(2) 基礎的な知識・技能の定着

- ・パワーアップ学習（漢字、計算のスキル学習）、はなまるタイム（国語力・言葉の溜め込み等）を一層推進する。
- ・夏季休業を活用した補充学習（大空教室、パワーアップ教室）を実施する。
- ・朝の読書活動を充実し、「おすすめの本」20冊を読む。

(3) 学びの姿勢・習慣作り

- ・学習のルール（「話す」「聞く」）の指導を徹底する。
- ・話し手の方を見て聞く（視、聴、心）ことを重点的に指導をする。
- ・「声のものさし」「ハンドサイン」を授業の中で生かしていく。

(4) 自尊感情の育成

- ・水口町小中学校連携による「学びを育てる」ための共通実践を確実に実践する。
- ・何でも話せる、お互いに助け合える等の支持的風土のある居心地のよい学級づくりに努める。

(5) 主体的な家庭学習

- ・「家庭学習のてびき」の活用を通して、家庭と連携を図りながら毎日の家庭学習の定着を一層図っていく。高学年では自分で考え、調べる「自主学習」を推進する。（1時間以上学習する割合 6年児童の80%）

5. 学力向上策の検証

- ・「全国学力・学習状況調査」の調査結果の分析
- ・「学習評価」の活用
- ・漢字検定の実施

